



# 医療経営情報システムの戦略的運用の研究

地域基盤研究機構 (HBMS 地域医療経営プロジェクト研究センター)  
 特命講師 島川 龍載 (しまかわ たつり)

連絡先 県立広島大学 広島キャンパス 2213 号室  
 Tel 082-251-9735 (直通)  
 E-mail tshimakawa@pu-hiroshima.ac.jp



専門分野： 医療経営学、医療情報学、病院・医療管理学、  
 医療社会学、医用システム、地域研究

キーワード： 医療経営情報システム、メディカルデジタルトランス  
 フォーメーション、地域包括ケアシステム、医療介  
 護総合確保推進、Electronic Health Record、  
 Personal Health Record

## ● ひろしまビジョンとの関わり

広島県は、健康寿命、特定健康診査実施率や、がん検診受診率のいずれも全国的に低位となっています。また、中山間地域をはじめとした医療や介護資源の不足など、高齢化や人口減少の影響が大きい地域が偏在しています。これらのことから、今後の地域ヘルスケアの持続的提供を支えるために、広島県では、現在取り組んでいる地域包括ケアシステムを深化させるとともに、今後10年先を見据えたイノベーション指針として、ヘルスケア分野において、「メディカルデジタルトランスフォーメーション (DX)」を推進し、データやデジタル技術を活用した新たなサービスや付加価値の創出に向けて取り組んでいます。

主に、医療介護分野では、ひろしま医療情報ネットワーク (HM ネット) の普及と高付加価値化を進めていくために、保健・医療・介護分野やそれに関連する生活領域で、デジタル・イノベーションが創出される姿を目指しており、これらの仕組みの定着に向けた研究事業を行っています。

## ● 研究概要 I

### 受験を検討している方々へ

我が国では、人口減少と高齢化への対策として、健康寿命延伸と医療介護のサービスの生産性向上のための ICT (Information and Communication Technology) を利用した改革が進められており、EHR (Electronic Health Record) の地域単位で

のネットワークの展開の推進とともに、PHR (Personal Health Record) のサービスモデルの開発と研究事業が進められています。

情報共有において、専門性が高い内容 (医学知識等) になると、発信側と受信側の間で、「情報の非対称性」が発生しやすくなります。発信側は、その情報に対する責任 (アカウントビリティ) を果たすために、受信側が理解し、納得できる説明が必要になると考えられます。

これらの観点から、ヘルスケア分野での様々な経営課題を ICT の視点で解決し、より良いヘルスケアサービスを地域に普及 (参加と継続利用) させるための研究を進めています。

## ● 研究概要 II

### 連携協力を検討している方々へ

私が所属する HBMS 地域医療経営プロジェクト研究センターでは、医療介護総合確保推進のためのマネジメント人材養成とヘルスケア分野の課題を経営の視点で解決を図るための研究を行っています。これまで、当センターでは、県内自治体や医療介護関係者に向けた医療政策及び医療経営に関するセミナー、人材養成プログラム等を開催してきました。また、前述したように地域ヘルスケアの持続可能性を高めるために、広島県や広島県医師会、地場産業の中小企業などの協力を得て、ICT 分野での研究事業を行っています。

限りある医療介護の経営資源 (ヒト、モノ、カネ、情報) を効率的に活用するために、今後もビジネスとマネジメントの視点から、ヘルスケア分野が抱える課題に対して、シンクタンクとしての機能を果たし、広島県の地域活性化に積極的に貢献していけるように活動を進めてまいります。